

きづがわしの水道

～安心・安全な生活と快適な暮らしを支える水道～



令和5年度水道事業会計 予算の概要

収益的収支・税込

(単位: 万円)

項目	令和5年度 当初予算	令和4年度 当初予算	比較
収入	水道料金	134,191	130,055
	手数料	450	288
	下水道負担金	6,110	7,580
	他会計負担金	900	934
	長期前受金戻入	49,065	50,416
	その他(広告収入等)	270	259
	計	190,986	189,532
支出	職員人件費	17,412	17,811
	動力費	23,368	12,333
	薬品費	658	593
	受水費	49,480	47,682
	施設委託料(水質、機械等)	9,177	9,388
	事務委託料(検針、宿直等)	3,264	2,869
	修繕料	11,206	12,660
	支払利息	2,376	2,384
	減価償却費、資産減耗費	77,955	76,780
	貸倒引当金	300	1,000
	その他(消費税、負担金、手数料等)	5,229	5,832
	予備費	100	200
	計	200,525	189,532
	差引	△ 9,539	0 △ 9,539

資本的収支・税込

(単位: 万円)

項目	令和5年度 当初予算	令和4年度 当初予算	比較
収入	加入金	3,888	5,434 △ 1,546
	水道事業(開発)分担金	1,000	1,000 0
	工事負担金	3,508	6,696 △ 3,188
	企業債	1,100	20,000 △ 18,900
	一般会計出資金	1,982	1,954 28
	財政調整基金繰入金	0	60,000 △ 60,000
	計	11,478	95,084 △ 83,606
支出	建設改良費	58,976	147,321 △ 88,345
	企業債償還金	9,808	10,109 △ 301
	予備費	300	300 0
	計	69,084	157,730 △ 88,646
差引		△ 57,606	△ 62,646 5,040

令和5年度水道事業会計の予算が3月市議会定例会において可決されましたので、その概要をお知らせいたします。

水道事業会計は、水道水をつくったり、施設の維持管理のための経費を扱う収益的収支と、水管の更新や施設の建設などを行う資本的収支に分かれています。ここでは、それぞれの収支について昨年度と比較しながら簡単に紹介します。

まず、収益的収支の収入では、令和5年度の水道料金収入は、人口のゆるやかな増加見込みにより昨年度より4,136万円の増額となっています。長期前受金戻入は、減価償却費及び資産減耗費の特定財源部分です。また、支出では、動力費が円安やウクライナ情勢に起因する電気代の高騰で1億1,035万円の増額となっています。受水費は、水需要の増加に対応できるよう1,798万円の増額となっています。赤字予算となっていますが、令和4年度末で繰越利益剰余金を1億円以上見込んでいますので、累積欠損は発生しません。

次に資本的収支の収入では、新規の水管加入件数が減少するものとして、加入金を1,546万円減額しています。公共下水道工事や河川工事などに伴う木津川市および京都府からの負担金は件数の減少により3,188万円の減額となっています。また、支出では、老朽配水管及び下水道関連の布設替工事、舗装復旧工事のほか、山城浄水場更新工事、加茂地区の機器更新工事などを実行する予定となっています。収入と支出の差額は、過年度留保資金等で補填します。

計画的かつ効率的な事業運営に努めてまいります。



水道水は濁りや臭いが発生する場合もあります

<濁りが発生した場合>

久しぶりに水道を使用した場合や、水道工事による断水や火災により消火栓を使用した場合など、水道管内の水の流れる速さや方向が変わるために、水道管に長年蓄積された鉄分が剥離して、水道水が赤い濁り水となる場合があります。ご家庭で濁り水が出た場合は、浄水器を設置してあるものや混合水栓以外の蛇口からしばらく流していただき、元のきれいな水に戻ったことを確認の上ご使用ください。濁り水の原因となる鉄分は人体への吸収率が低く大部分が排出されますので、飲んでしまったとしても直ちに有害ということはありませんが、明らかに色がついている場合は飲用以外にご使用ください。漏水等により大規模な濁り水が発生した場合は、市水道によりできるだけ濁り水を強制的に排除しますが、どうしても濁り水が続く場合は、広報車や市HP等によりお知らせさせていただき、応急給水（給水車等）で対応させていただくことになります。

<臭いが発生した場合>

水道水はコレラや赤痢などの細菌や病原性大腸菌を死滅させる効果のある塩素（カルキ）で消毒しています。塩素の注入は必要最小限にしていますが、塩素の臭いが気になる場合は、煮沸や汲み置き、冷やすことにより、臭いを軽減または解消することができます。ただし消毒効果がなくなりますので、早めにご使用ください。

また、河川の表流水を原水としている場合、藍藻類などの微生物が活発に繁殖し、原水にカビのようなにおいをつけることがあります。粉末活性炭処理により極力臭いを取り除いていますが、臭いに敏感な方は多少臭いを感じることもありますが、安全性については問題ありません。

新素材の水道管について職員研修を行いました。

令和5年2月2日に(株)クボタケミックスのご協力で、ハイパーポリエチレン管という新素材の水道管について職員研修を行いました。ハイパーポリエチレン管はダクタイル鋳鉄管に比べて軽量で耐久性も十分にあることから、特に小口径の水道管工事で施工性が良いとされています。木津川市水道でも本格的な導入を検討しています。



山城浄水場の更新工事を実施しています。

現在の山城浄水場は昭和49年度に完成した施設で、山城地域全域の水道水を担っています。耐震化を図るため、令和4年度から全面的な更新工事に着手しています。新しい山城浄水場は、令和7年度末から運用を開始し、既存施設の撤去を含めて令和8年度中の完成を目指しています。また、浄水能力は現在の4,000m³/日から3,300m³/日にダウンサイジングし、災害時の安全対策として電力引込線を2重化します。



上水道と下水道の組織が統合しました。

令和5年4月1日より、上水道と下水道が組織統合し名称が変わりました。また、今まで下水道に関する窓口は2階でしたが、1階に引っ越ししましたので、ご用の際は1階窓口までお越しください。上水道に関しては、変わらず1階窓口となっております。

編集・発行・ネーミングライツのご相談
木津川市上下水道部業務課 TEL : 0774-75-1250

